

CONTENTS

| | |
|--|---|
| 土居さんが行く！ ○江津市「よさみんオーガニックサークル」編 …… | 1 |
| 益田翔陽高校活動レポート ～夏～ 宣言者のページ ○島根大学 生物資源科学部 杉原小波さん …… | 2 |
| 第1回販売力強化研修会開催報告 島根有機農業協会有機農業技術等波及講座 日程について …… | 3 |
| 食育講座の開催について 田んぼの生き物調査を実施しました …… | 4 |
| シリーズ第34弾「環境農業」トピック …… | 5 |
| 行事予定 …… | 6 |



第38号

平成29年9月

島根の『環境農業』情報誌

『環境農業』に関する県の考え方や事業の進行状況をリアルタイムでお伝えし、皆さまとネットワークを結ぶことを目標としています。

土居さんが行く！『地域の有機農業活動レポート』

県内各地を歩いて有機農業の普及に日々奮闘しておられる土居さんからの活動報告です。



江津市「よさみんオーガニックサークル」編

この度は「よさみんオーガニックサークル」をご紹介します。

江津市で有機農業の講座を行うきっかけになったのは、4年前、邑南町でNPO法人 島根有機農業協会(以下「協会」)主催の講座が行われた際、江津市の参加者から「地元でもこういう勉強会をやってほしい」との声があがり、平成26年に協会側の協力と同時に、江津市が有機農業推進に関心があるということが重なり、市からの支援を受けて開催することになりました。

「よさみん」の名称については、江津市に縁ある歌人・柿本人麻呂の恋人「よさみ姫」の名前にちなみ名付けられています。

講座は、月一度のペースで、午前の座学から午後の実習に至るまで行い、40名を超える参加者が集まり開催されています。

講座の内容については、有機農業技術のノウハウを出来るだけタイムリーに学べるよう、講師の米田美佐男さん(協会)を中心に、座学だけでなく、実習畑での栽培実習も行います。

更には、地元に向作物の栽培、或いは食べ方や料理教室、懇談会、先進地視察など、多岐にわたっての学びの場になっています。

江津市においても「江津市有機農業推進協議会」を平成26年11月に設立されたことから、この講座について引き続き支援をしております。

参加費無料で、場所は主に江津市和木公民館(実習畑は公民館隣接)で行われています。有機農業に関心をお持ちの地元の皆さま、また近隣の方々も是非、足を運んでみてはいかがでしょうか。

お問い合わせは下記まで。

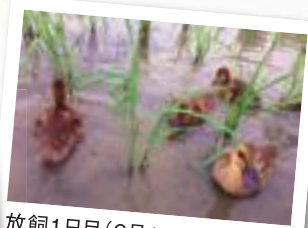
●お問い合わせ先 NPO法人島根有機農業協会(電話0855-75-0017)



益田翔陽高等学校 環境保全型農業への取り組み[その2]

この「きらり」に翔陽生の活動を掲載していただき、うれしいことに多くの反響をいただいています。この場をお借りして、感謝申し上げます。

さて、今年度も合鴨水稲同時作を小屋作りから始めました。3年生の課題研究班は2人と少ないのですが、下級生の協力も得られ順調にスタートし、「きぬむすめ」の苗も順調に生育しました。



放飼1日目(6月11日)



生育調査中(6月22日)



田植え6月26日

播種量1箱あたり80g
(播種後10日)

しかし、明日から代かきをしようというところで、思わぬハプニングが発生しました。農場の全ての用水は高津川からポンプでくみ上げて使用していますが、そのポンプが故障し、復旧は盆明けとなってしまいました。一時は今年度の水稲栽培をあきらめたのですが、蟠竜湖(ばんりゅうこ)を水源とする地方水利組合のご協力が得られ、どうにか田植えまで行うことができました。

全ての準備が整い、合鴨の放飼ができたのは、6月10日。昨年12月から準備してきた課題研究(卒業研究)は“ようやく”スタートしました。

毎日の飼育や水稲の調査などこれから多くの調査が待っています。研究班の一人が、合鴨水稲同時作での思いを意見発表(弁論大会)で発表した結果、島根県大会で最優秀賞をいただき、中国大会に出場が決定しています。

内容の中に有機農業は多くの命を育むことができ、その有機農産物は「命の結晶」とあるという言葉が入っています。生徒の心の中に少しずつ豊かな生き方や食べ方が芽生えてきていると感じています。

宣言者のページ

農業でつながるご縁

島根大学 生物資源科学部 杉原 小波

島根大学の生物資源科学部には、ミニ学術植物園「みのりの小道」があります。現在、ここでは不定期で大学教員や学生、市民が集まって身近な草花を使って遊んだり、いろいろな方のお話を聞いたりして交流しています。

この「みのりの小道」で、有機農業に取り組む福間忠士さんと出会いました。福間さんは週に1回、農でご縁をつなぐ“縁農”という活動をされています。縁農に参加すると、農業の厳しさや楽しさといった、大学とは違ったことも学べます。この農園は緑に囲まれた松江市八雲町内にあり、アイガモ農法や新しい栽培方法など日々挑戦し続けておられ



ます。慣れない耕運機を使うのは大変ですが…いろいろな方に助けてもらいながら、作業した後にいただく季節の料理は格別ですし、一緒に秘伝の料理法も教えていただけます。

ここではたくさんのご縁につながります。時には農家により結成された農民バンドの演奏する音楽との出会いもあります。

縁農でたくさんの人と出会い、今まで知らなかった世界に触れることができました。大学生のうちに縁農に参加できるのはとても貴重な時間だと感じています。まだまだ学ぶべきことは多いので人生の先輩方に教わりつつ、これからも頑張ります！

東京オリパラに対応した県産有機農産物の競争力強化をテーマに『有機農産物の販売力強化研修会(第1回)』を開催しました。

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック大会では、持続可能で環境にやさしい食材を使用する等の方針が示され、食材調達基準に大会組織委員会が認めたGAPの認証取得が要件化されました。そして、有機農業は要件を満たした上で推奨される事項として位置づけられました。

現在、島根県が進めている「安全で美味しい島根の県産品認証制度(美味しまね認証)」は、オリパラ食材調達基準の要件を満たした島根県版のGAP認証です。また、「島根県エコロジー農産物(不使用)」は、推奨される事項の「有機農業によって生産された農産物」に該当するものです。

そこで県としては、この機会を捉え、有機農業者に美味しまね認証を併せて推進し、流通業界等へ積極的にPRすることで、本県有機農産物の競争力を一層強化することを目的とし、7月31日(月)県立農林大学校にて本研修会を実施し、生産者・関係機関61名の参加がありました。

当日は、有機JAS、GAPの両制度に精通しておられるNPO法人アジアGAP総合研究所の橋本省三講師をお迎えして、食品安全を脅かす原因や、有機農産物の安全・安心を担保するために生産現場でどのようなことに取り組んだらよいのか、具体的に学んでいただきました。

また、後半では、東京オリパラの食材調達基準と美味しまね認証、有機農産物関連の研修会等の情報提供を行いました。

参加者からは「衛生管理や整理整頓の重要性が分かった」「美味しまね認証を取って、より安全な農産物を作りたい」など食の安全について改めて考えていただく良い機会につながりました。

【県産園芸課】



NPO法人島根有機農業協会より

有機農業技術等波及講座の開催日程について

有機農業波及講座について、前号(6月号)の時には、大まかな時期のみでしたが、このたび日程や講師等、詳細が決まりましたのでお知らせします。

有機農業に興味のある方、より深く勉強をされたい方、皆さん大歓迎です!!



① 有機農業技術講座 第2回「菜園管理(春・夏)」

講師：Happy Village Farm 経営者 石綿 薫 氏
開催日：平成29年9月7日(木) 13:30~15:30
場所：石央地域地場産業振興センター (江津市嘉久志町イ405)
参加費：無料
※第1回は終了しました

③ 有機JAS認証制度の基礎知識と事務手続きについての講座

講師：NPO法人 島根有機農業協会
開催日：平成29年11月、12月予定
場所：東部、西部各1回

② 有機農業講演会『心と体を癒す食と農とは』

講師：
【基調講演】(公財)農業・環境・健康研究所 農業大学校 校長 陽 捷行 氏
【事例発表】吉田こども園 理事長 杉原 幸江 氏
看護師 山崎 英子 氏
開催日：平成29年10月19日(木) 13:00~16:00
場所：(株)ジュンテンドー研修センター
(ジャストホール)多目的ホール
(益田市遠田町2179-1)



詳細については、
下記連絡先までお願いします

連絡先

NPO法人 島根有機農業協会
(TEL:0855-75-0017)

HPアドレス

(<http://www.shimane-yuki.or.jp/>)

食育講座

「有機農産物・エコ農産物を知って、食べよう!」を開催 ～消費者の有機農産物理解促進活動～

県農業技術センター(有機農業普及課)は、松江市との共催で6月15日と8月3日に宍道子育て支援センター(松江市宍道町)で乳幼児の保護者を対象に食育講座を行いました。この講座は、消費者の有機農産物への理解を深めていただくため各市町村と連携し、平成26年度から県内各地で開催しています。

6月15日は、県の担当者から県の取り組みについて、そして、農家の方から「有機農業では害虫対策に化学農薬が使えないので天敵昆虫を使っている」など有機農業について話をさせていただき理解を深めました。また、トマトの試食もあり、おいしいと好評でした。さらに、同じトマトでも切り方により甘さの感じ方が違うことに驚きの声があがっていました。

8月3日は、有機農産物を主な食材として調理実習を行い、実際に食べて有機農産物の魅力を感じてもらうことができました。また、管理栄養士の方からは、料理をおいしく手早く作るポイントも教えていただきました。

次回は10月24日と11月7日に鹿島子育て支援センター(松江市鹿島町)で食育講座を、11月18日には松江市保健福祉総合センター(松江市乃白町)で食育講演会を行います。

●お問合先 県農業技術センター技術普及部 有機農業普及課 (TEL:0853-22-6973) 【県農業技術センター】



田んぼの生き物調査を実施しました。

農林水産省では、「農業の持つ自然循環機能の維持増進を図るため、たい肥等による土づくりを通じて化学肥料・化学合成農薬等による環境負荷の軽減を実現する持続的な農業(環境農業)」を推進しています。

そこで、平成23年度から環境保全型農業直接支援対策(以下「環境直払」)を創設し、化学肥料や化学合成農薬の使用を基準の5割以下に抑えるとともに、多様な生物が生息できる環境の保全や地球温暖化防止に効果の高い農業生産活動を行う場合に、その掛かり増し経費として交付金を交付しています。本年は、環境直払による生物多様性を保全する効果を検証するため、県内3か所で田んぼの生き物調査を実施しました。

この調査では、農業環境技術研究所作成の「農業に有用な生物多様性の指標生物調査・評価マニュアル」に従って、指標生物である「カエル類」、「クモ類」、「水生コウチュウ類」を調査し、生物多様性について評価を行いました。

結果としては、環境直払取組ほ場及び未取組ほ場とも、数多くの生き物が見つかりました。また、指標生物ではありませんが、ドジョウも見つかった地点もありました。

これらのことから、環境直払に取り組むことで、取組ほ場のみならず、周囲のほ場も生物相が豊かになると考えられます。



水田で、生き物採取を行っています



様々な生き物が見つかりました

《調査地点及び環境直払の取組内容》

- 安来市:冬期湛水管理
- 大田市:有機農業
- 浜田市:総合的病害虫・雑草管理(IPM)と組み合わせた除草剤代替技術(本田の機械除草)による雑草対策

【県産園芸課】

農業技術センターで開発した野菜の 有機栽培技術を県内各地で実証中!

農業技術センターでは、有機農業の栽培技術を開発するため重点研究「有機農業推進のための技術開発プロジェクト」に中山間地域研究センターとともに取り組んでいます。研究期間は、平成24～29年度の6年間で水稲、野菜及びナタネ・ソバ(輪作)の栽培技術を研究しています。

併せて、研究と並行して開発した技術の速やかな普及を図るため、県内各地に水稲や野菜の技術実証ほを設置しています。野菜関係では、農業技術センターで開発した技術の実証に加え、各地域で独自に解決したい課題についても現地でも検討しています。

今年度は表1のとおり県内14カ所の実証ほを設置し、地域課題の解決や技術の普及のためデータ収集をしながら現地検討会などを開催しています。野菜関係の実証ほの成果は、今年度末に発行する「有機野菜栽培指針」に生かしたいと考えています。

表1 平成29年度みんなでつなげる「しまね有機の郷」事業 有機野菜栽培技術実証ほ一覧

地域課題解決型実証ほ

| 普及部 | 設置場所 | 作物 | 面積 (a) | 内容 |
|-----|----------|---------------|--------|--|
| 松江 | 松江市上東川津町 | オクラ | 2 | 黒マルチ及びトンネル被覆による初期生育促進と雑草抑制、アブラムシ等害虫の進入防止 |
| 安来 | 安来市東赤江町 | イチゴ | 6 | 炭酸ガスを利用したイチゴ苗の害虫防除 |
| 雲南 | 雲南市木次町 | ダイコン | 2 | 平坦露地におけるダイコンの有機栽培 |
| 出雲 | 出雲市神西沖町 | ダイコン サツマイモ | 3 | ダイコン:ネコブセンチュウ対策(クロタラリア、エンバク鋤込み) サツマイモ:全面マルチ被覆によるコガネムシ防除 |
| 浜田 | 浜田市弥栄町 | サトイモ | 10 | 省力的に栽培出来るサトイモの有機栽培 |
| 浜田 | 浜田市弥栄町 | オクラ | 30 | 障壁作物を利用したポップコーン栽培 |
| 県央 | 邑智郡美郷町 | キュウリ | 2 | 中山間地域での露地キュウリの有機栽培 |
| 大田 | 大田市久手町 | イチゴ | 16 | 炭酸ガスを利用したイチゴ苗の病害虫防除 |
| 益田 | 吉賀町柿木村 | レンコン | 16 | レンコンの有機栽培技術の確立 |
| 隠岐 | 隠岐郡海士町 | イチゴ | 2 | 炭酸ガスを利用したイチゴ苗の害虫防除 |

技術波及型実証ほ

| 普及部 | 設置場所 | 作物 | 面積 (a) | 内容 |
|-------|---------|------|--------|-----------------------|
| | 江津市後地町 | ピーマン | 2 | 露地栽培ピーマンの有機栽培 |
| 技術普及部 | 江津市和木町 | サトイモ | 1 | サトイモの省力的な有機栽培(全量基肥施用) |
| | 安来市穂日島町 | イチゴ | 7 | 炭酸ガスを利用したイチゴ苗の害虫防除 |
| | 浜田市金城町 | イチゴ | 10 | 炭酸ガスを利用したイチゴ苗の害虫防除 |



キュウリの露地栽培
邑智郡美郷町
生育状況(7/5)



ピーマンの露地栽培
江津市後地町
整枝作業の様子(7/21)

担当:
県農業技術センター
技術普及部有機農業普及課

TEL:0853-22-6973

MAIL:nougi@pref.shimane.lg.jp



～有機農産物・エコロジー農産物の消費拡大に向けて～

今年度、県内消費者に向けた情報発信について、株式会社 山陰中央新報社に業務委託して実施します。お知らせする内容のほかに、りびえ～での特集記事の掲載などを予定しています。



認定機関名
有機JASマーク

その1 「オーガニック・エコキャンペーン」の実施について

●キャンペーン期間…11月1日(水)～30日(木)

期間中、県内スーパー、直売所等に県産有機農産物・エコロジー農産物のコーナーを設置します。これらの商品を買って、袋に付いている認証マークを集めて応募すると抽選でプレゼントが当たります。



島根県エコロジー農産物推奨マーク

その2 「ママふえすin出雲」で子育て世代のお母さんにPRします

- 日時:平成29年9月9日(土)
 - 会場:朱鷺会館&しまね花の郷 (出雲市西新町)
- 有機農産物に関するクイズに答えて抽選でオリジナルエコバックをプレゼントします。

その3 「子どもがよろこぶ有機おやつ」をテーマとした親子料理講座の開催

- 日時:平成29年9月30日(土)
- 会場:山陰中央新報文化センター
- 講師:大谷清美さん (管理栄養士)
- 対象:幼児期の子供とその保護者

※各イベントの詳細は、県フェイスブックのほか、りびえ～等で掲載する予定です。

『宝箱紅茶まつり』の開催について

私たちが取り組んでいる循環型の有機農業と環境整備の実践をしている空山にて、松江のシンボルである宍道湖と有機栽培の茶畑の景色を眺めながら、“まつえの紅茶”を楽しんでいただける『宝箱紅茶まつり』を行います。

宝箱紅茶親睦会

※要申込

【名前】【連絡先】をご記入の上、下記メールまたはFAXにてお申込みください

- 開催日時/平成29年9月9日(土) 13:00～16:30(定員15名) 参加費1,000円

宝箱紅茶まつり—空山の野と紅茶を楽しむ おまつり—

※申込不要

- 開催日時/平成29年9月10日(日) 10:00～15:30 少雨決行
- 場所/農業生産法人(有)宝箱 茶工場 (島根県松江市大庭町1632-1)
- 問い合わせ先/宝箱紅茶まつり実行委員会 (松浦造園(株)グループ 農業生産法人(有)宝箱)

連絡先:TEL(0852)21-1489 FAX(0852)25-6073 担当:松浦美早(ミサキ)

メール:info@e-takarabako.com Facebook:@oba.sorayama.takarabako Instagram:@oba_sorayama_takarabako

詳細は、ご連絡いただくかSNS等でご確認ください。皆さまのお越しをお待ちしています!!



※Google mapにて『(有)宝箱 茶工場』と検索すると道順が表示されます。

島根県有機農業グループの公式Facebookページを運用中!



アカウント名

島根県有機農業グループ

FacebookURL: <https://www.facebook.com/shimane.yuuki>

*生産者からの情報提供も受け付けております。掲載、リンクを希望される場合には、有機農業グループ(0852-22-6477)までご連絡ください。



宣言の状況

(平成29年7月末現在)

3,865件

消費者の方……3,060件
農業者の方……664件
企業・学校等……141件

この情報誌は、「環境を守る農業宣言」をした生産者や消費者の方々及び関係機関に配布しています。ご意見、掲載希望、また配布停止を希望される方は、下記までご連絡ください。

発行・編集

島根県農林水産部農産園芸課 (平成29年9月1日発行)

〒690-8501 松江市殿町1番地

E-mail econousan@pref.shimane.lg.jp

TEL.0852-22-6704/FAX.0852-22-6036

URL <http://www.pref.shimane.lg.jp/nosan-engei/>

Facebookアカウント名「島根県有機農業グループ」(<https://www.facebook.com/shimane.yuuki>)

